

# 生活者グループインタビュー実施(案)

2004年9月28日

株式会社 野村総合研究所

## 3月生活者アンケートでは課題の優先順位付け。 今回は新規ソリューションへのヒントを得るべく生の声を把握。

### ● 目的

- グループインタビュー対象者が抱える問題点やニーズを把握し、ユビキタスネット社会に期待される新たなソリューションイメージを考案する
  - 対象者に対して、ユビキタスネットワークの特長、先導的事例を紹介した上で問題点やニーズ把握

### ● 実施時期

- 10月中旬

### ● グループインタビュー対象者の選定

プレサーベイ目的でインターネットアンケートを実施し、各グループ(3ページ参照)の条件に合致し問題意識の明確な人を抽出

一都三県在住者で参加の協力が得られる方を選定

1グループは5、6名程度

# グループ設定では、各層の平均像だけでなく、 ニーズが顕在化した対象者を集める。

## 20～40代ビジネスマン、OL (転職経験者、フリーターを含む)

- ◆勤務形態の多様化
- ◆若年層の失業問題の解決、雇用機会の拡大
- ◆各種行政・法務手続きのオンライン化



## 高齢者予備軍、前期高齢者 (現役、入院経験者、介護経験者)

- ◆異なる医療機関間の連携強化、診察情報・医師情報の電子化と個人への提供
- ◆多様で利用しやすい介護サービスの充実
- ◆高齢者の知恵や経験を活かせる就業機会の提供

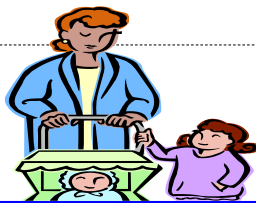


	10代	20代	30代	40代	50代	60代
男						
女						

Diagram showing overlapping circles representing target groups: a red circle around 20-40s, a blue circle around 30-40s, and a green circle around 60s.

## 30、40代主婦 (仕事育児両立、復職願望、三世帯同居)

- ◆勤務形態の多様化
- ◆電子マネーによる流通・決済の高度化
- ◆日常の防犯体制の強化
- ◆子供から高齢者まで幅広い年齢層による世代間交流の活発化、家族や友人間の交流活発化



## 情報機器ヘビーユーザ (会社員、自営業、自由業)

- ◆交通機関の時刻表情報、目的地の周辺情報の充実、公共交通サービスの充実と利用促進
- ◆文化・芸術・スポーツの鑑賞機会、参加機会の充実
- ◆知識ワーカーの創造物の蓄積・共有化促進支援、知識ワーカー同士の協業支援



各グループでニーズ把握しやすいと思われるソリューションテーマ  
(現時点の想定)

● グループインタビューの流れは概ね次の通り想定(2時間30分程度実施)

